

霧ヶ峰・車山(1925m)山行報告

【山行日】 2015年8月 23(日)

曇り時々晴れ

【集 合】 岩舟支所 P AM 6:00

【費 用】 マイカー2台 : 4,300円

【メンバー】 CL:鈴木、大西、石田、岩淵、
梶内、島田、関、福田々、藤原、

【コースタイム】岩舟支所 P6:00＝八島湿原

P8:40/9:00～物見岩 10:10～蝶々深山 10:35～

車山乗越 11:10～車山山頂 11:40/12:25～

車山乗越 12:40～ころぼっくるヒュッテ 13:10～

八島湿原入口 13:35～八島湿原 P14:10/14:20＝岩舟支所 P18:10

お盆で一週間山が空いたので、足慣らしに丁度良い霧ヶ峰山行を計画した。



になり、左に進んで湿原の北側を進む。霧が濃く、周りの景色は見えないが木道の両側は花が沢

山咲いている。ハクサンフウロ・マツムシソウ・

イワショウブ・コオニユリ・アサマフウロ等々沢

山の花が咲き乱れ素晴らしい。I 淵さんは「エ

～素晴らしいジャン！」とご満悦。S 田氏も「こ

この時季は花が少ないと思ったが、こんなに花

が見られるなんて凄いな～」と驚いていた。

特にアサマフウロが沢山咲いていて、これほ

どの群生は見たことが無い。

東山荘跡で小休止し、衣服調整をする。

ここからは、しばらく樹林の中を歩くようになり、

しばらく行くと、草原の緩やかな斜面をジグザ

グに登るようになる。



北関東道から上信越道に入ると、雨が落ちてきた。天気予報では、霧ヶ峰は晴れの予

報となっている。天気予報を信じて、一路八島湿原に向かった。長野県に入ると雨は止

んだが、山道に入り高度が上がると霧が深くなってきた。八島湿原駐車場に着き、車から

降りると霧雨のような細かい雨を感じる。

トイレを済ませ、トンネルを通過して八島湿原入口の広場に移動しストレッチを行う。

八島湿原の大きな案内板の前で写真を撮り、

湿原に降りて行く。木道を降りて行くとT字路





やがて、岩交じりの広い道となり大きな岩がある物見石へ着く。コーヒープレイクとし、チーズケーキとウナギパイをいただきながら熱々のコーヒーを楽しむ。ここから一旦下って、また登りとなるが下り始めたころから小雨になる。しばらく様子を見ながら歩くが、止みそうもないのでレインウエアーの上衣を着る。蝶々深山の登りになると雨脚が弱くなり、青空ものぞくようになりレインウエアーを脱いだ。蝶々深山の山頂は広く平らな山頂で、晴れていれば眺望が素晴らしい所である。

ここから車山湿原に向かって下り、湿原分岐を過ぎると再び登るようになる。天気もようやく良くなり、時々陽が射すが直ぐにガスが掛かりと目まぐるしく変わる。車山乗越まで来ると、リフトで登って来た観光客が多くなりにぎやかになる。山頂への登りは、皆さん大変そう。リフト乗り場の脇を通り、白い気象レーダーが見えるとほどなく広い山頂に着く。山頂からは、南側は晴れて眺望があるが北側はガスが掛かり、晴れると登って来た蝶々深山や物見岩のなだらかな山容が素晴らしかった。



山頂でランチタイムとし、今日の山ごはんはチャーシュー入り醤油ラーメン。デザートはコーヒージェリーやパイナップル等を美味しくいただく。山頂で記念写真を撮り下山する。



来た道に戻り、車山湿原の手前から左に折れ、ころぼっくるヒュッテに向かう。ころぼっくるヒュッテには、トイレや売店があり賑わっていた。ヒュッテから沢渡に向かい、沢渡から広い農道を通って八島湿原入口に向かった。湿原入口から、湿原の南側を歩いてスタートした駐車場に向かう。木道が広く歩き易い道で、木道の両脇は花が沢山咲いていた。ヤナギラン・ヤマハギ・タムラソウ・マルバダケブキ等々素晴らしい。湿原より高い所を歩くので、朝見えなかった八島湿原全体が見渡せ大感激。八島湿原入口広場

にある高山植物の案内板で、今日見てきた花の復習をして帰路につく。帰りはビーナスラインを走り、我が国屈指の山岳道路のドライブを楽しむ。途中、蓼科第二牧場に寄り、ソフトクリームや牛乳をいただいたが、「このソフトクリームは、今までで一番美味しい。」と大好評だった。

深田久弥が「日本百名山の中で言った、「霧ヶ峰は楽しむ山である。」を文字通り存分に楽しんだ山行であった。